

10/7

すべての民主的学友は民学団に結集しよう。

10.21斗争成功・沖繩三大選挙勝利 公務員共斗支援・山崎君追悼！ 明日府学連統一行動に起とう！

6じ扇町

デモグラフィック

No.314

民主主義学生同盟
市大支部機関紙10/7

明日の斗いの意義は何か？

反政青委統一行動として行なわれる明日の斗いはいかなるいみをもつのだろうか。オーにこの斗いをステップとして10・21国際反政青一行動を成功させることである。10月21日には協賛労組が四百万がすでに求起を決定している。県政財能系系、九大ファントム、米軍基地撤去の斗争等で国民の前に反保条約の実態がバクロされる中で、バトナム反政斗争——それは今やバトナム反政勝利と明確にスローカーン化されねばならぬ——と反保放棄の斗争とを結びつけ、戦争と侵略の近隣内閣を打倒するために成功は必須である。特殊市大にあることは、10・21をクラスに根ざした運動として展開し、教養ストの圧倒的成功をもちとる中で市大自治会の大衆的民主的再生と大阪府学連の強化をはたし、学生戦線統一を第一歩をふみだすことができるのである。オーに、十一月に行なわれる沖繩三大選挙勝利にむけての斗いである。沖繩三大選挙を勝利することは、バトナム共闘中央をめぐり情勢のほかで運動の突破口を切り拓くだろう。オーに、10月8日に行なわれる公務員共斗時限ストライキへの支援の意味をもつ。公務員は巨額下で基本的な権利をスト権をなくけつられ、主権者としての全権を失われ、労働条件の悪化は常態とされている。佐藤護の佐藤政府への大巾賃金引上げの斗いは客観的には佐藤政府を人民より一層孤立させるものとして存在する。オーに、山崎君への追悼の意である。昨年の十月八日、佐藤首相は山崎君の死をふみ台にして南バトナム訪問に公断した。この羽田斗争の教訓は、(1)物理的手段——ヘルメット、棍棒——ではバトナム侵略加担を阻止する二とができず、(2)労働者階級を中心とした統一戦線により政治的に孤立させたときにおいてのみ可能であり、(3)学生にあっては、各学団を基盤にした統一戦線の二翼としてのMが必要である。山崎君追悼は、この統一戦線をつくることであり、具体的には10・8・10、21斗争を圧倒的に成功させることである。

ヘルメット棍棒を拒否し、整然とした規律あるデモを展開しよう。

上に諸君がヘルメット——棍棒武装を常態化してからすこし時期をおくれて平素の一部である共闘系が大阪でヘルメットデモを恒常化させようとしている。我々は国家権力の弾圧には大衆的な力と整然たる規律あるデモストレーションでこたえるべきだと考える。物理的手段では政府の反動的政変の改定はありえず、逆に弾圧を拓く結果となり、政治的力関係を変更しなければならぬことを銘記せよ。

国際学連の旗の下、闘う全学連を再建しよう。